

[業界別レポート]
働く人と職場2019
－居酒屋編－

2019年10月
株式会社リクルートジョブズ
ジョブズリサーチセンター

[業界別レポート] 働く人と職場 2019－居酒屋編－ とは

「[業界別レポート] 働く人と職場 2019」は、特定の業界で働く意識や職場に関する意識について、個人に調査した結果をまとめています。本レポートは居酒屋（居酒屋の接客・ホールスタッフ、調理・厨房スタッフ）を対象としたものです。

調査対象は4セグメントに分かれます。居酒屋で現在就業している「A. 就業者」、過去に就業経験がある「B. 離職者」、居酒屋での就業経験はないが就業に興味関心はある「C. 意向者」、就業経験がなく就業に興味関心もない「D. 非意向者」です。

居酒屋業界全体に共通する魅力、より高められる魅力を理解する手がかりとしてご活用ください。

【目次】

回答者プロフィール	2
まとめ ーそれぞれの上位5項目ー	3
1. 仕事の選択理由	5
2. 仕事を継続する理由	7
3. 離職の理由／必要を感じる改善点	9
4. 意向・非意向の理由	11
【参考】勤務時間	13

調査概要

- ・調査名：特定業種に関する調査2019
- ・調査目的：求人と求職の需給ギャップがある特定業種における、労働者の実態を把握し、今後解決策を模索する上での基礎資料とすること。
- ・調査方法：インターネット調査（クロス・マーケティング社モニター利用）
- ・調査期間：2019年3月27日（水）～3月31日（日）
- ・調査対象：20～59歳までの男女（全国）
 - ー現在、対象業種に従事している人
 - ー過去に対象業種に従事したことがある人
 - ーこれまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がある人
 - ーこれまで対象業種に従事したことがない、かつ対象業種での就業意向がない人

セグメントごとの回答者数は下の表のとおり。本レポートの対象は居酒屋の、計800人。

		就業経験者		就業非経験者		(人)
		A. 就業者	B. 離職者	C. 意向者	D. 非意向者	
コンビニエンスストア		200	200	200	200	
アパレル・雑貨販売		200	200	200	200	
飲食店	ファーストフード	200	200	200	200	
	居酒屋	200	200	200	200	
ホテル・旅館		200	200	200	200	
介護サービス		200	200	200	200	
ドライバー		400	400	400	400	
警備		200	200	200	200	
倉庫内作業・仕分け		200	200	200	200	

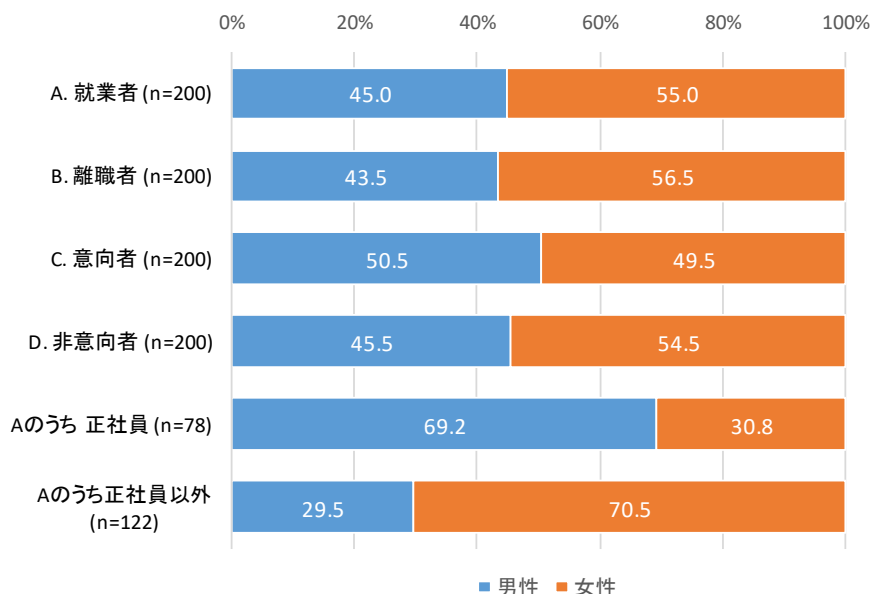
※ なお、四捨五入の関係で数表内の%の合計が100とならない場合がある。

回答者プロフィール

■ 性別

回答者の性別分布は、右のグラフのとおり。A.就業者は女性が55.0%で半数以上を占めている。

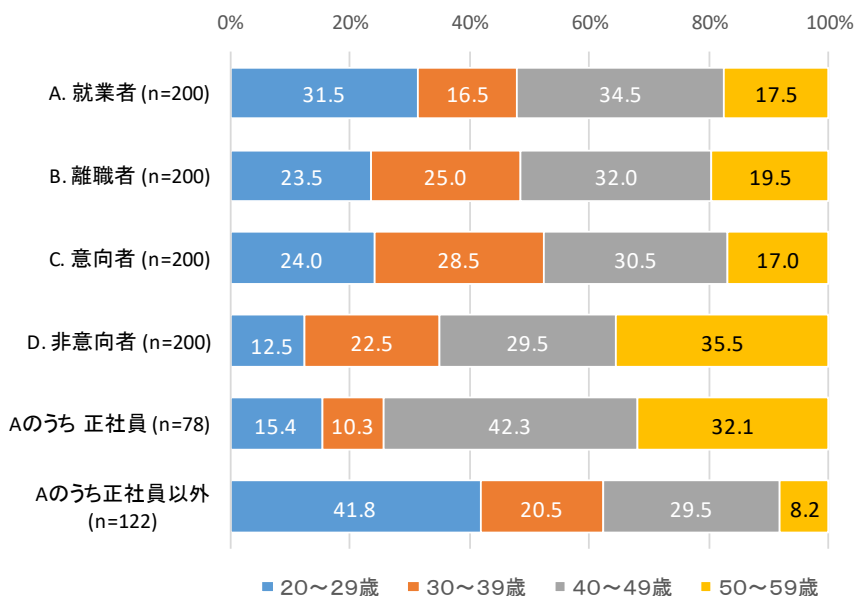
A.就業者のうち、正社員^{*1}では約7割が男性、正社員以外^{*2}では逆に約7割が女性となっている。



■ 年齢

回答者の年齢分布は、右のグラフのとおり。A.就業者では40代が34.5%、20代が31.5%となっている。

A.就業者のうち正社員では40代と50代の割合が高く、正社員以外では20代が約4割となっている。



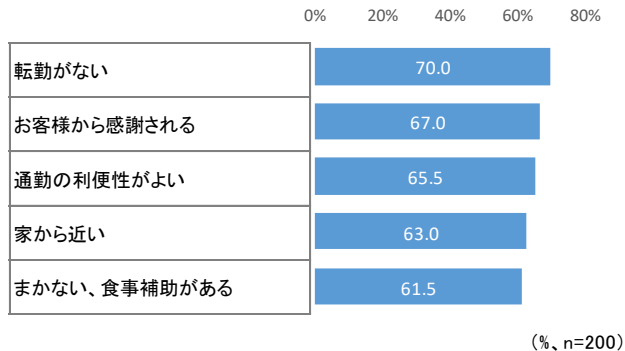
※1 自営業者などを含む。

※2 パート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。なお、学生アルバイトは正社員以外のうち17.2%。

まとめ —それぞれの上位5項目—

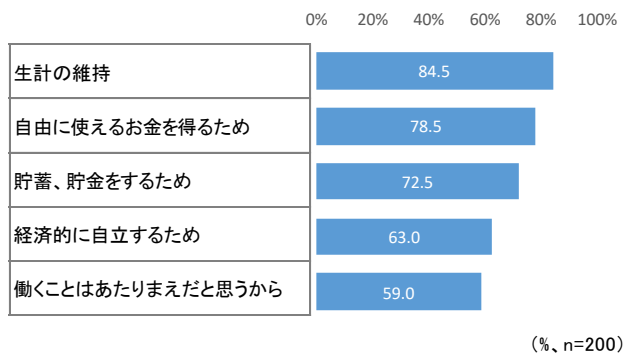
■ 仕事の選択理由 就業者の上位5項目

現在居酒屋で働いている就業者にその仕事を選んだ理由を聞くと、上位5項目のうち3項目は勤務場所に関することだった。これらに加えて、「お客様から感謝される」「まかない、食事補助がある」があげられた。



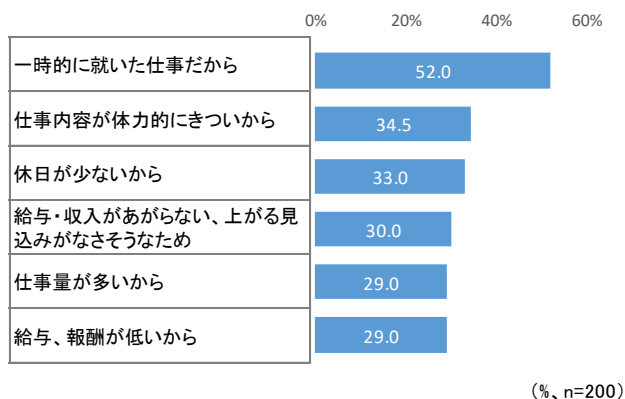
■ 仕事を継続する理由 就業者の上位5項目

就業者が居酒屋で仕事を続けている理由は、「生計の維持」「自由に使えるお金を得るため」など、経済的なものが上位を占めている。また、「働くことはあたりまえだと思うから」という理由も約6割の人があてはまると回答している。



■ 離職の理由 離職者の上位5項目

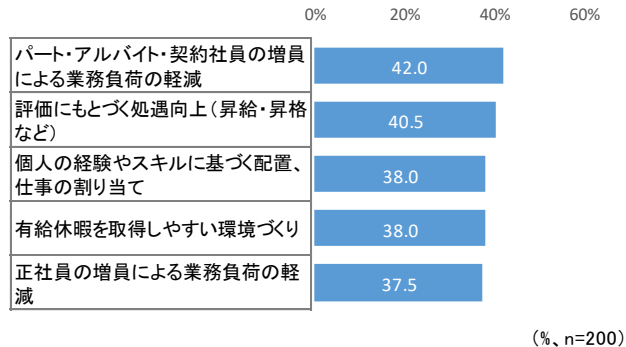
以前は居酒屋で就業していたが現在は辞めている離職者に、その離職の理由を聞いた。最も多いのは「一時的に就いた仕事だから」だった。次いで、業務負荷の高さや給与面が上位にあがった。



まとめ —それぞれの上位5項目—

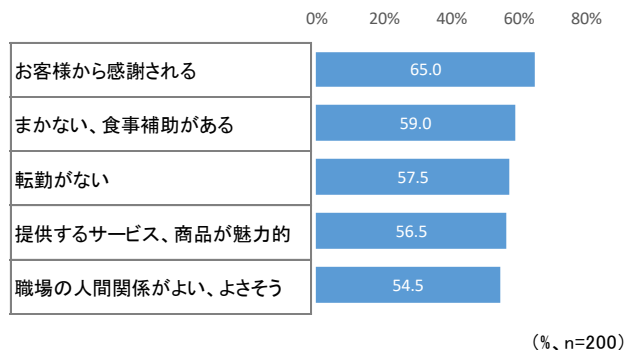
■ 必要を感じる改善点 就業者の上位5項目

居酒屋の就業者に改善が必要だと思う点を聞くと、まず多かったのは「パート・アルバイト・契約社員の増員による業務負担の軽減」をはじめとする、負担の軽減を求める意見だった。また、「評価にもとづく処遇向上（昇給・昇格など）」などの割合も高い。



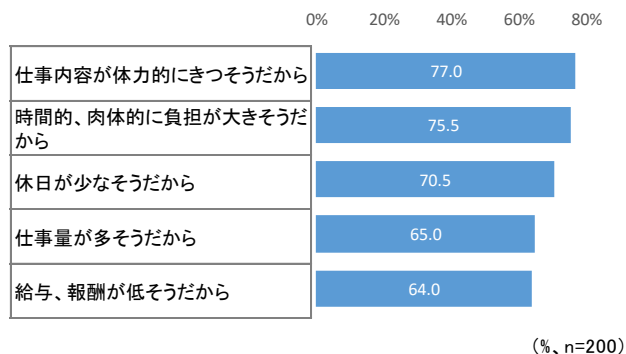
■ 意向の理由 意向者の上位5項目

居酒屋で働いたことはないが働いてみたい気持ちがある意向者に、その理由を聞くと、「お客様から感謝される」「まかない、食事補助がある」「提供するサービス、商品が魅力的」「職場の人間関係がよい、よさそう」など、やりがいや居心地のよさがあげられた。



■ 非意向の理由 非意向者の上位5項目

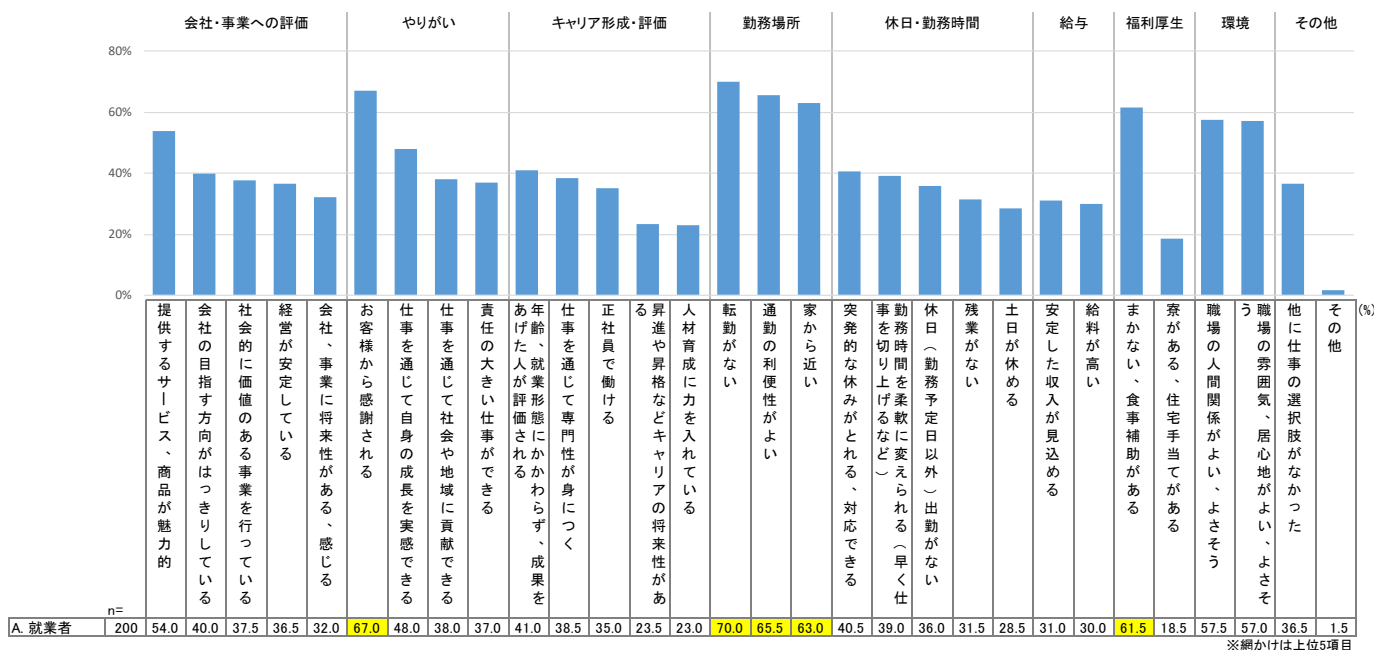
居酒屋で働いたことはなく働いてみたい気持ちがない非意向者に、その理由を聞いた。「仕事内容が体力的にきつそうだから」「時間的、肉体的に負担が大きそうだから」など、労働負担に関するものと、給与面が上位になった。



1. 仕事の選択理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

現在居酒屋で働いている就業者に、その仕事を選んだ理由を聞いた。上位5項目のうち3項目は、「転勤がない」「通勤の利便性がよい」「家から近い」という、勤務場所に関することだった。次いで、「お客様から感謝される」や、「まかない、食事補助がある」といった環境に関することがあげられた。利便性や、お客様との距離の近さが魅力となっているようだ。また、「提供するサービス、商品が魅力的」「職場の人間関係がよい、よさそう」「職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう」も5割以上となっている。



【A. 就業者】

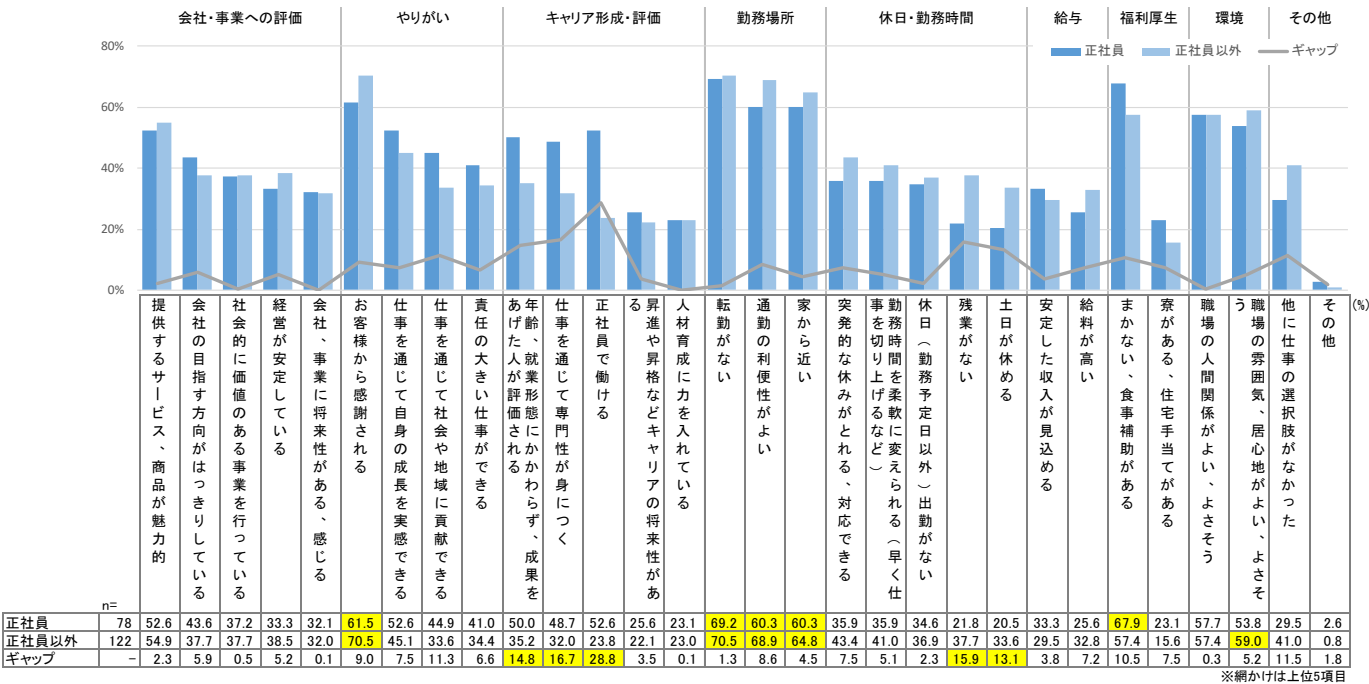
Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。
 （「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

1. 仕事の選択理由

居酒屋の仕事を選んだ理由について、A. 就業者を正社員※と正社員以外で分けて見てみよう。（※自営業者等を含む。「正社員以外」はパート、アルバイト、契約社員、派遣社員など。）

両者ともに「転勤がない」「通勤の利便性がよい」「家から近い」という勤務場所に関する項目と、「お客様から感謝される」が上位になっている。その他に、正社員は「まかない、食事補助がある」、正社員以外は「職場の雰囲気、居心地がよい、よさそう」も上位になっている。

正社員と正社員以外でギャップが大きい項目を見ると、キャリア形成・評価の「正社員で働ける」「仕事を通じて専門性が身につく」「年齢、就業形態にかかわらず、成果をあげた人が評価される」は正社員の方が高い。「残業がない」や「土日が休める」は正社員以外の方が高い。



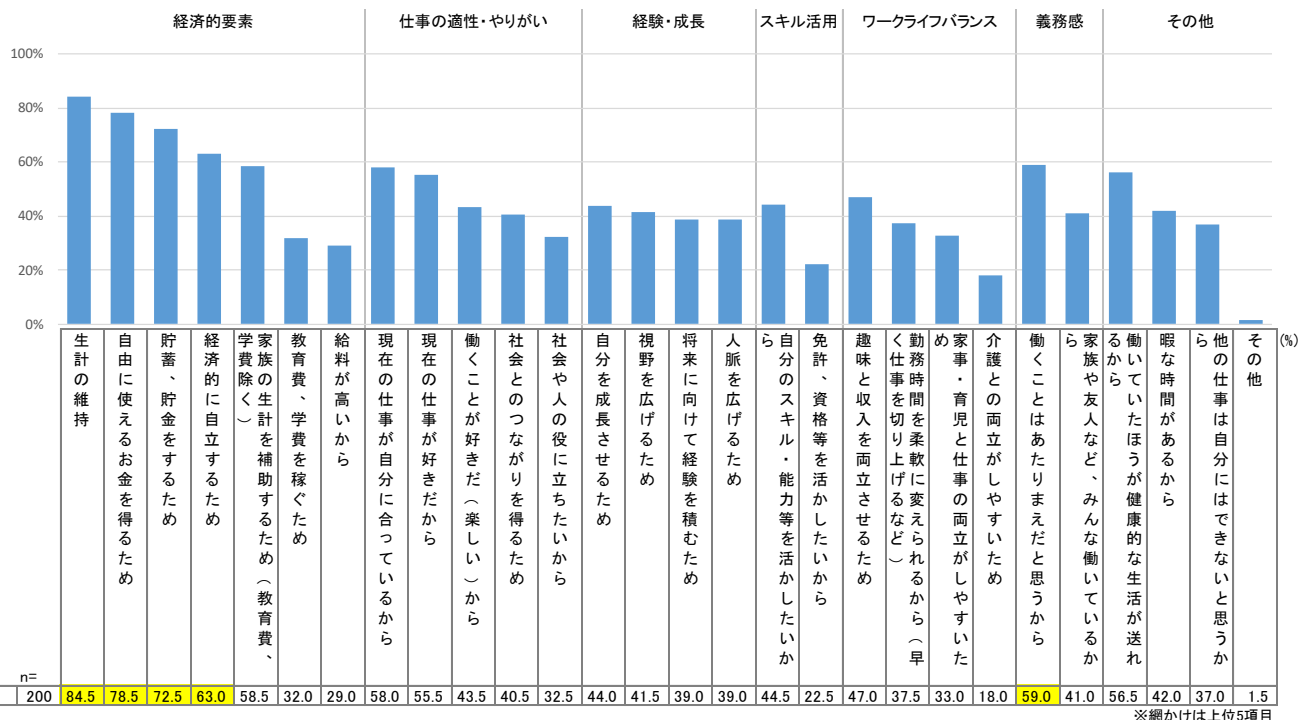
【A. 就業者】

Q. 現在の勤務先（店舗、事業所、支社）を選んだ理由としてあてはまるものをお選びください。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

2. 仕事を継続する理由

A. 就業者／正社員と正社員以外

現在居酒屋で働いている就業者に、居酒屋での仕事を続けている理由を聞いた。「生計の維持」「自由に使えるお金を得るため」をはじめ、経済的なものが上位を占めている。また、「働くことはあたりまえだと思うから」という理由も約6割の人があてはまると回答している。



※網かけは上位5項目

【A. 就業者】

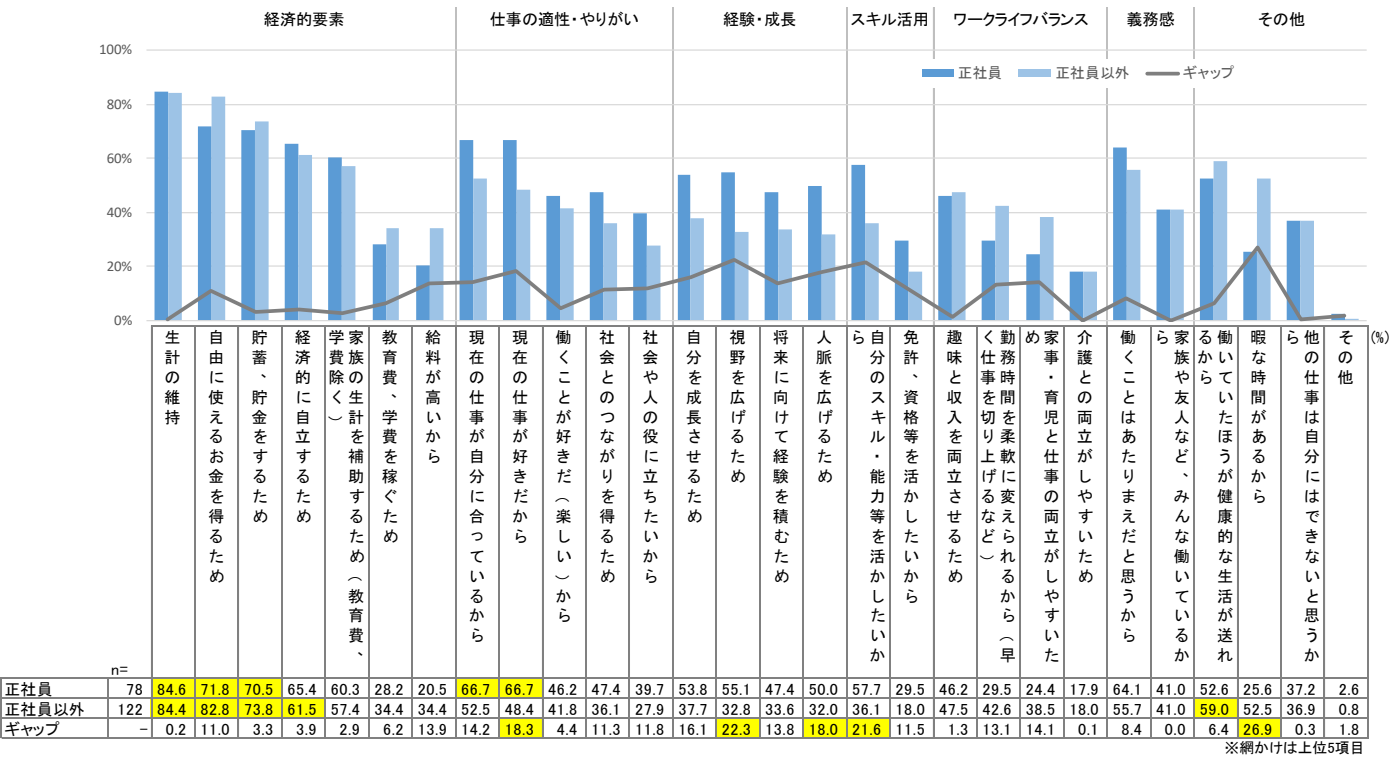
Q. あなたが現在、「飲食サービスの仕事（居酒屋での接客や調理）」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

2. 仕事を継続する理由

居酒屋で働き続ける理由について、A. 就業者を正社員と正社員以外に分けて見てみよう。

正社員も正社員以外も、上位3項目はいずれも経済的要素で、それに続いて正社員では「現在の仕事が自分に合っているから」「現在の仕事が好きだから」、正社員以外では「経済的に自立するため」「働いていたほうが健康的な生活が送れるから」が多くなっている。

両者のギャップが大きい項目を見ると、「視野を広げるため」「自分のスキル・能力等を活かしたいから」「現在の仕事が好きだから」「人脈を広げるため」などは正社員の方が割合が高く、「暇な時間があるから」は正社員以外の方が割合が高い。



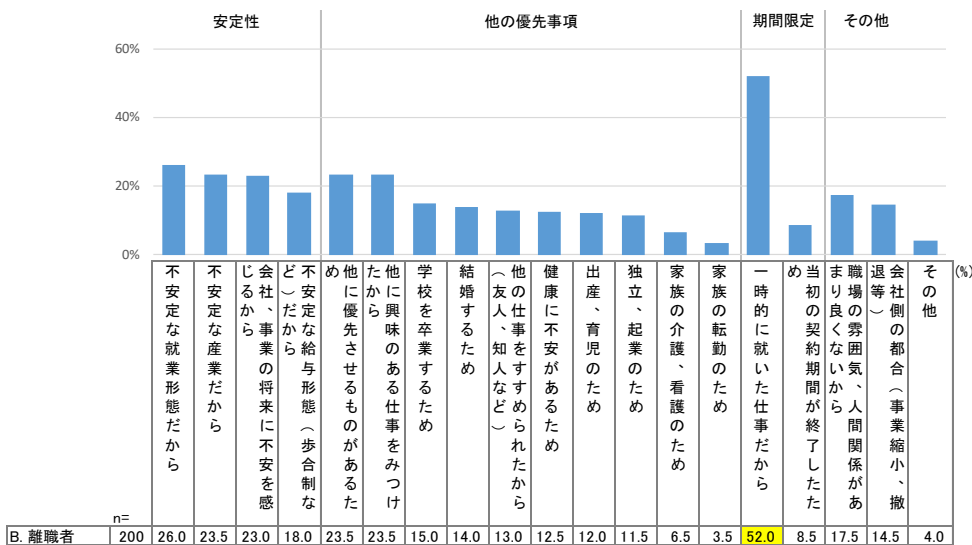
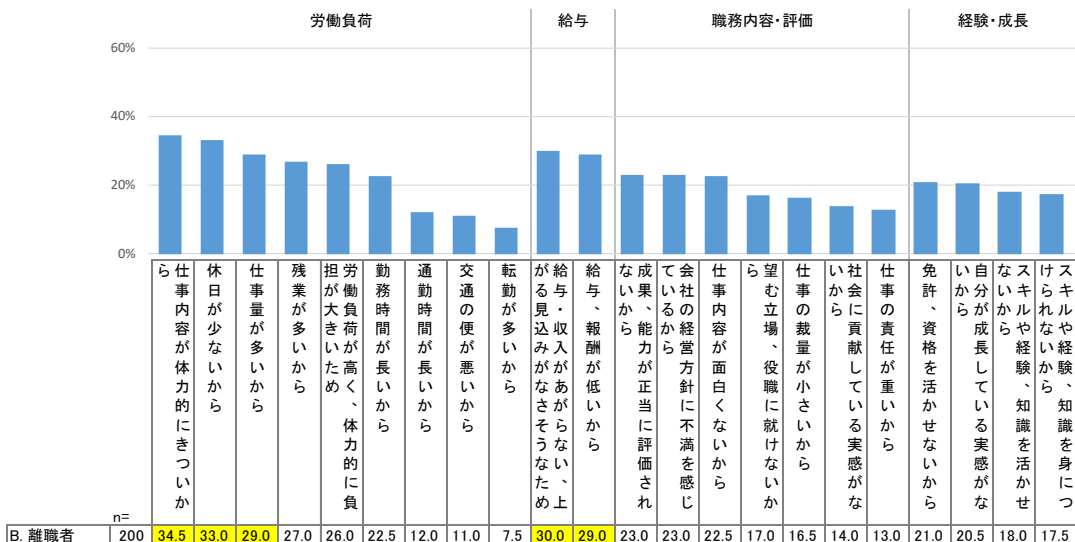
【A. 就業者】

Q. あなたが現在、「飲食サービスの仕事（居酒屋での接客や調理）」を継続して働いているのはどのような理由がありますか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

3. 離職の理由／必要を感じる改善点

B. 離職者／A. 就業者

以前は居酒屋で就業していたが現在は辞めている離職者に、その離職の理由を聞いた。最も多いのは「一時的に就いた仕事だから」だった。次いで「仕事内容が体力的にきついから」「給与・収入が上がらない、上がる見込みがなさそうのため」といった理由があげられた。



※網かけは上位5項目

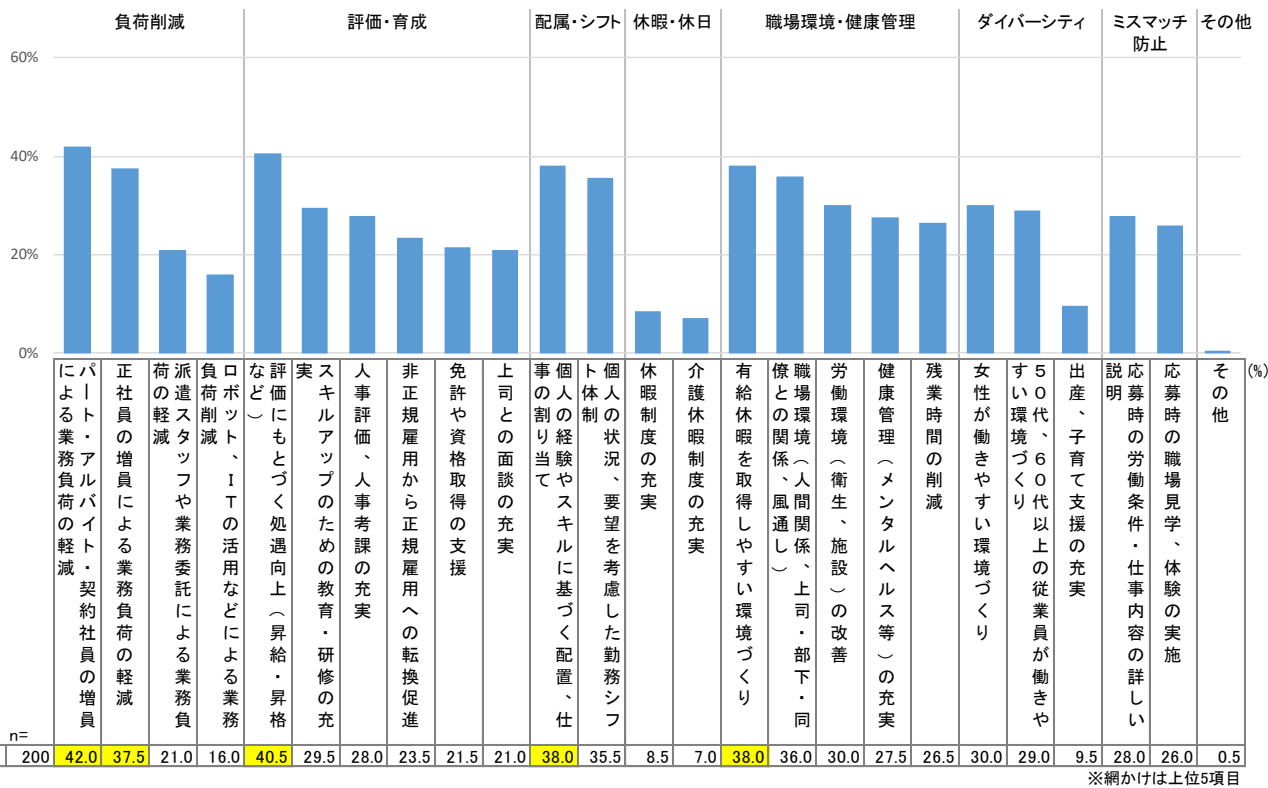
【B. 離職者】

Q. あなたが以前、「飲食サービスの仕事（居酒屋での接客や調理）」で働いていたにもかかわらず離職した（やめた）のはどのような理由からですか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

3. 離職の理由／必要を感じる改善点

居酒屋で働いている就業者に、現在の勤務先でどのような改善が必要だと思うかを聞いた。まず多かったのは「パート・アルバイト・契約社員の増員による業務負担の軽減」や「有給休暇を取得しやすい環境づくり」といった、負担の軽減を求める意見だった。また、「評価にもとづく処遇向上（昇給、昇格など）」も上位にあがっている。負担軽減や評価・育成についての希望は、前頁で見た離職者の離職理由とも対応していると言えるだろう。

＜必要を感じる改善点＞



※網かけは上位5項目

【A. 就業者】

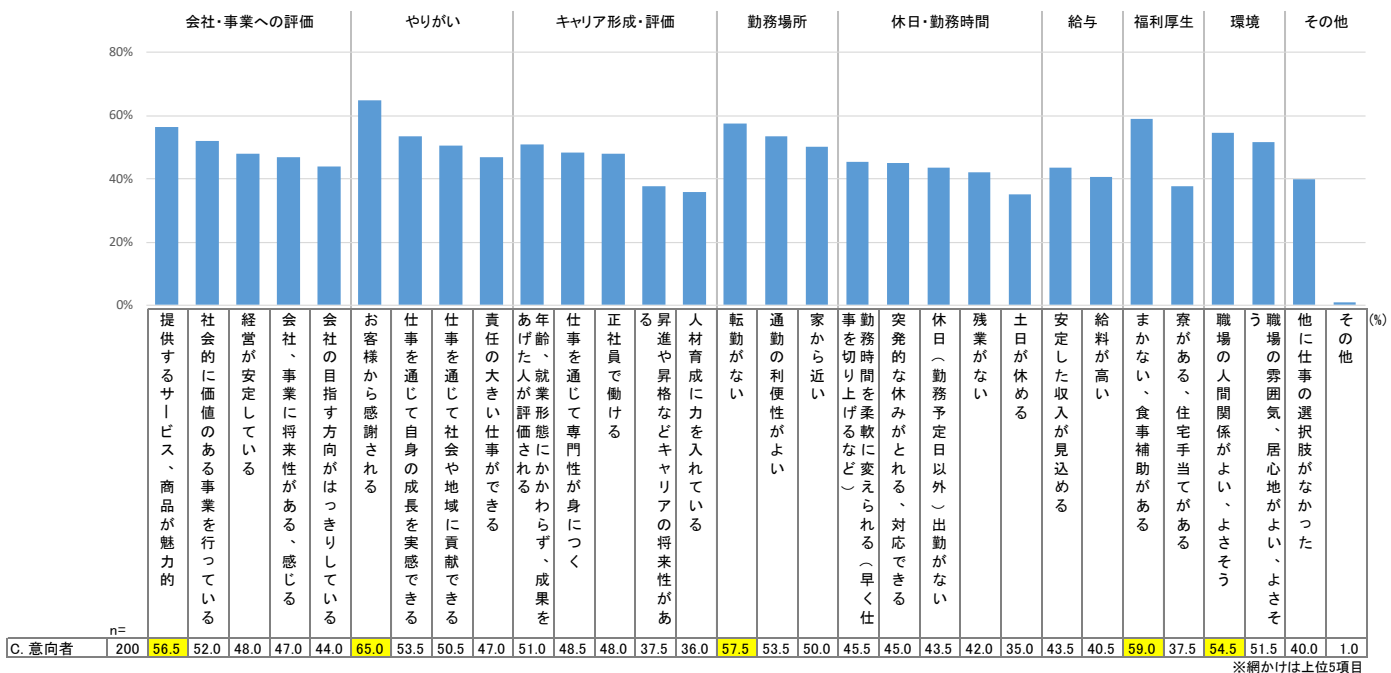
Q. あなたの勤務先（店舗、事業所、支社）は何らかの改善が必要と思われますか。（「非常に必要」「必要」の割合）

4. 意向・非意向の理由

C. 意向者／D. 非意向者

居酒屋で働いたことはないが働いてみたい気持ちがある意向者に、その理由を聞いた。上位には現在居酒屋で働いている就業者が仕事を選んだ理由と同様に、「お客様から感謝される」「まかない、食事補助がある」などがあげられた。「提供するサービス、商品が魅力的」「職場の人間関係がよい、よさそう」も上位となっており、居酒屋が身近な存在だからこその理由といえるだろう。

<意向の理由>



【C. 意向者】

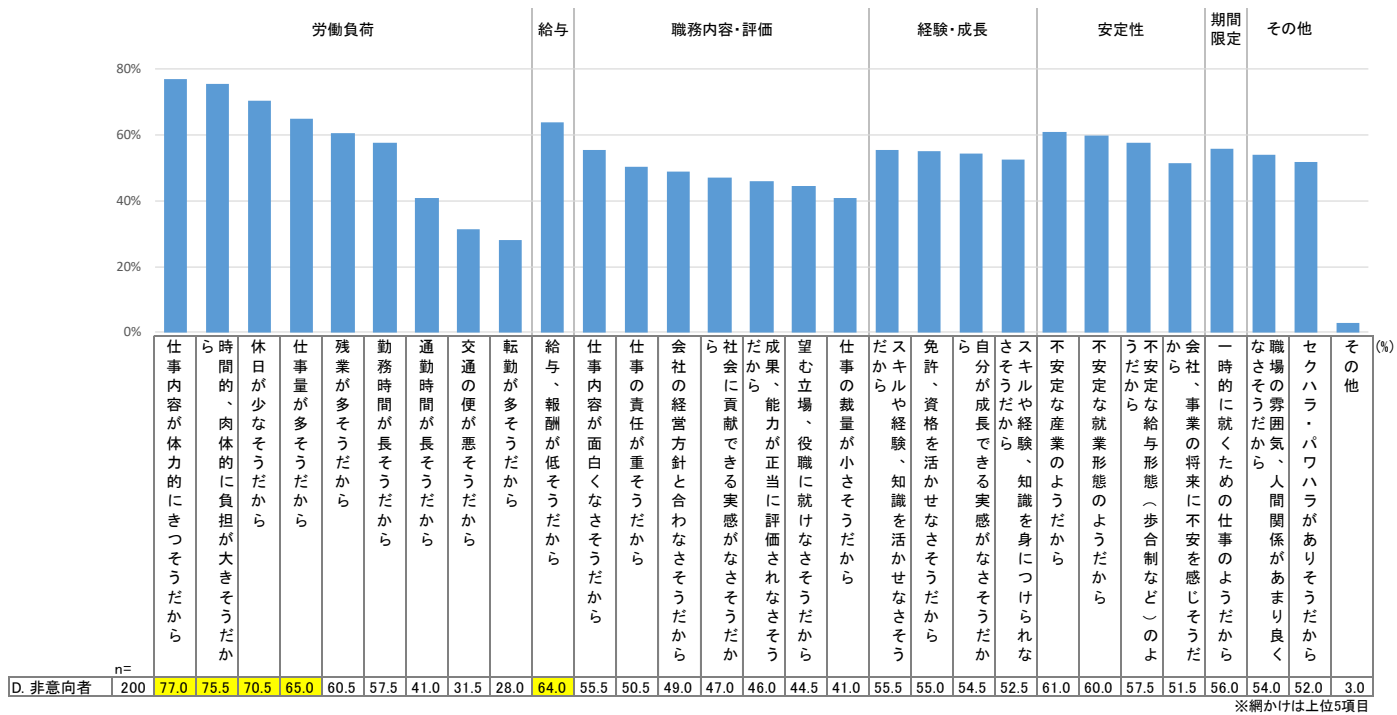
- Q. あなたが、「飲食サービスの仕事（居酒屋での接客や調理）」に「是非働いてみたい」または「働いてみたい」とお答えになったのは、どのような理由がありますか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

4. 意向・非意向の理由

居酒屋での就業経験がなく就業に興味関心もない非意向者に、その理由を聞いた。

まず「仕事内容が体力的にきつそうだから」「時間的、肉体的に負担が大きそうだから」など、労働負荷に関するものが上位4位にあげられた。また、「給与、報酬が低そうだから」も6割以上の人があてはまると回答している。非意向者が抱く居酒屋で働くことへの懸念は、実際の離職者が不満に感じることと一致している部分がある。

<非意向の理由>



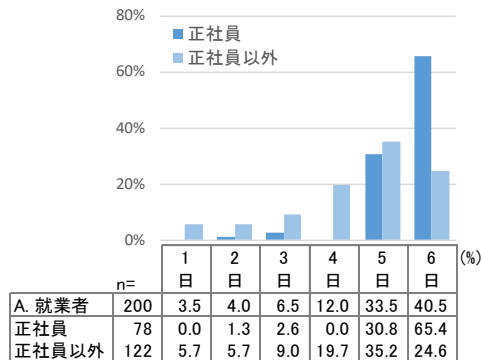
【D. 非意向者】

Q. あなたが、「飲食サービスの仕事（居酒屋での接客や調理）」に「働きたくない」または「全く働きたくない」とお答えになったのはどのような理由からですか。（「非常にあてはまる」「ややあてはまる」計）

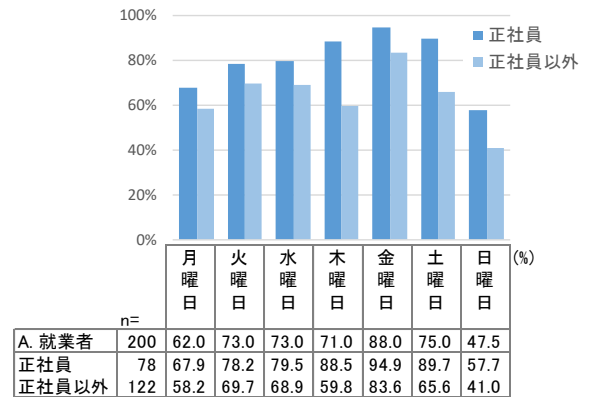
【参考】 勤務時間

A. 就業者／正社員と正社員以外

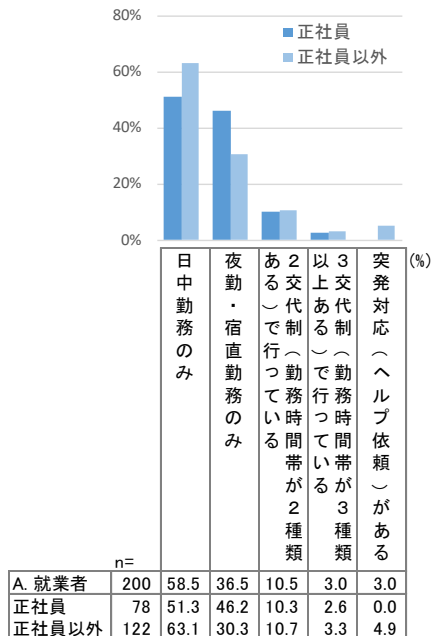
■ 1週間の勤務日数



■ 勤務曜日



■ 勤務時間帯



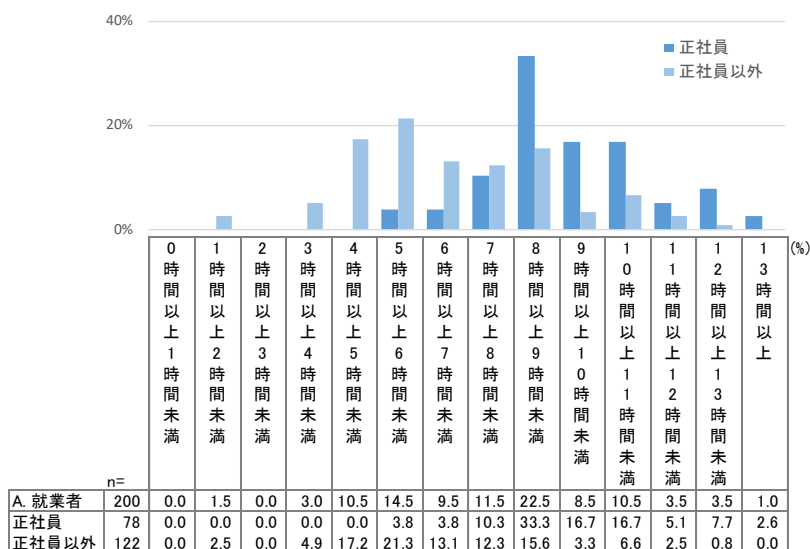
【A. 就業者】

Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1週間の勤務日数をお知らせください。（数値回答）

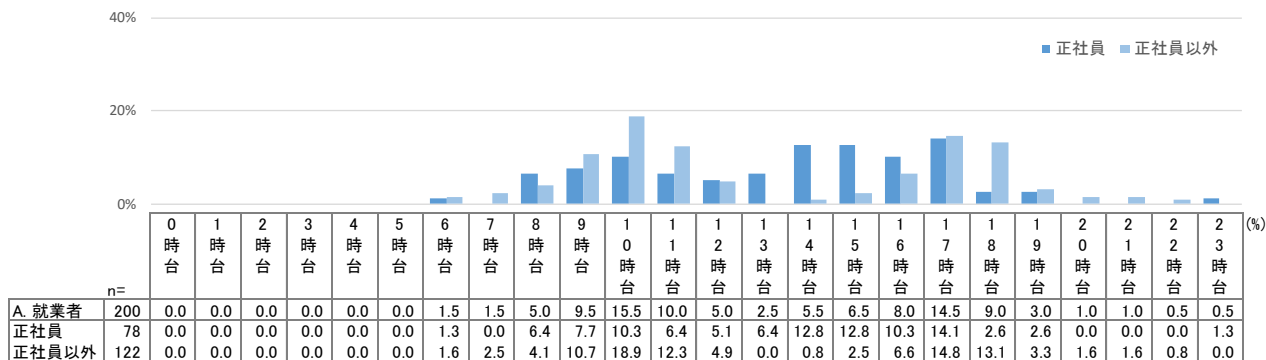
Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1週間の勤務曜日をお知らせください。（複数回答）

Q. あなたの勤務の時間帯ではまるものをお知らせください。（複数回答）

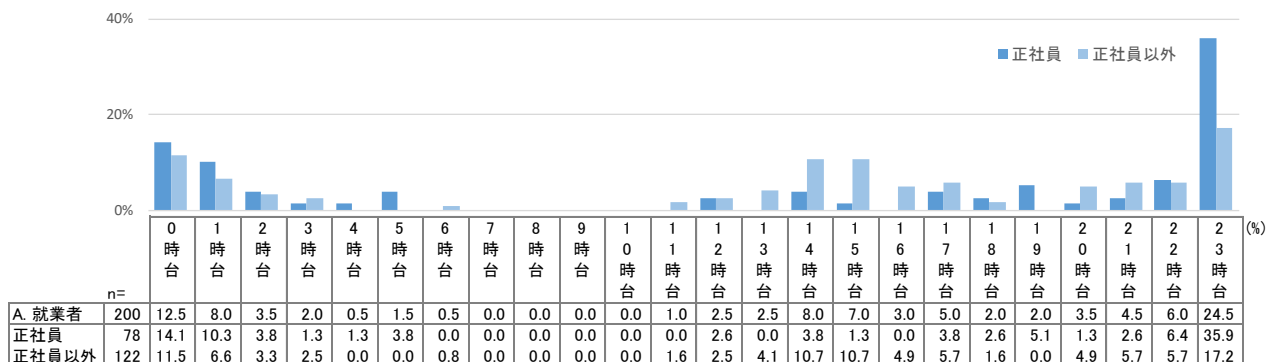
■ 1日あたりの 平均勤務時間



■ 就業開始時刻



■ 就業終了時刻



【A. 就業者】

- Q. あなたご自身の代表的な（よくある）1日あたりの平均勤務時間をお知らせください。（数値回答）
- Q. あなたの勤務の就業開始時刻と終了時刻について多い順に3パターンを記入してください。／パターン 1（数値回答）